

感染症情報 8月27日～9月2日

府下小児科199医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	769例(堺市	43例)
②RSウイルス感染症	555例(堺市	51例)
③ヘルパンギーナ	267例(堺市	22例)
④溶連菌感染症	265例(堺市	41例)
⑤手足口病	166例(堺市	20例)

府下インフルエンザ定点305医療機関(堺市29)から

インフルエンザ	12例(堺市	5例)
---------	--------	-----

が報告された。

感染症報告数は前週比12.1%増の2,350件であった。

報告の第1位は感染性胃腸炎で、以下RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、溶連菌感染症、手足口病の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より11%増、堺市では前週より34%増であった。RSウイルス感染症は府下で前週より64%増、堺市で29例→51例は76%増であった。ヘルパンギーナは府下で前週より15%減、堺市で30例→22例であった。溶連菌感染症は府下で前週より13%増、堺市では前週36例→41例であった。手足口病は府下で前週より14%増、堺市では前週4例→今回20例であった。

インフルエンザが府下で前週5例であったのが、12例になっている。

麻疹の報告はなかったが、風疹が2例あった。